

講義名	商業立地論			授業形態	
担当教員	秦 洋二	開講期・曜日・時間	後期 金曜日 2 時間		
		単位数	2	履修開始年次	3 年生

主題と概要

事業者のビジネスは、現実空間の中で行われています。例えば、小売店は販売地点（店舗）を持つ必要がありますし、ネット事業者は在庫を保管するための倉庫が必要です。そして事業者のビジネスが成功するかどうかは、「どこに」これらの施設を構えるか、つまり立地が決定的に重要な意味を持ちます。本講義では、商業立地に関する理論とともに、商業立地の分析方法についても実習形式（パソコンを使用）で学んでいきます。

到達目標

- ・商業立地の基礎理論について理解を深め、様々な場面にそれを応用できる能力を養う。
- ・商業立地に対する理解を深め、マーケティング視点から商業立地を分析し説明する力を養う。

提出課題

講義中に適宜指示します。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

講義中に解説を行います。

評価の基準

- ・中間レポート 50%
- ・期末レポート 50%

履修にあたっての注意・助言他

パソコンによる作業が必須となります。
 フリーソフトによる作業を予定していますが、現状 Windows版のみリリースされており、Mac OSには非対応です。悪しからずご了承ください。

教科書

.使用しない。

参考図書

.なし。

その他

講義資料がある場合は授業中に配布します。

授業計画

- 第1週 イントロダクション
- 第2週 商業立地の基礎理論
- 第3週 商業立地の基礎理論
- 第4週 情報化が商業立地に及ぼす影響
- 第5週 使用ソフトウェアの紹介とデータ収集
- 第6週 コロレスマップの作成
- 第7週 コロレスマップの作成
- 第8週 流通経路の地図化
- 第9週 流通経路の地図化
- 第10週 流通経路の地図化
- 第11週 アドレスマッチングと座標データの読み込み
- 第12週 アドレスマッチングと座標データの読み込み
- 第13週 アドレスマッチングと座標データの読み込み
- 第14週 オムニチャネル化と商業立地の現在
- 第15週 まとめ

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

- ・各回の事前準備とデータ収集（2時間）
- ・各回の復習と関連文献の渉猟（2時間）

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

本講義は、特に本学ディプロマポリシーにある「論理的思考力を持った人材育成」に資することを念頭において講義を構成しています。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

授業中は疑問に思ったことや気づいたことなどがあれば随時挙手してください。

実務経験の有無及び活用

備考